



2025 合併20周年記念

JOSO



常総市 市勢要覧
JOSO City Guide



Contents

市長あいさつ・市議会議長あいさつ

1

常総市の 20 年の歩み

2

復興の歩み

4

さらなる防災先進都市へ

5

アグリサイエンスバレー常総

6

子育て・AI まちづくり

7

常総市歴史・名所マップ

8

まちの歳時記

10

常総市とともに はたちを迎えて

12

資料編

13

【市の木】 カシ



【市の花】 サクラ



【市の鳥】 ウグイス



市の位置



合併 20 周年記念
ロゴマークについて



合併 20 周年を祝うロゴマーク作品を募集し、864 点の応募の中から、梅澤和希さん(水海道一高附属中)の作品が最優秀作品に選ばれました。常総きぬ川花火大会と豊田城、常総線の車両が描かれ、青を基調に、かつて水運で栄えた常総市を表現しています。

市長あいさつ

常総市は、平成 18 年 1 月 1 日に水海道市と石下町が合併して、今年度で 20 周年を迎えます。この節目を市民の皆様とともにお祝いできますことを、心よりお慶び申し上げます。

これまでの 20 年を振り返りますと、東日本大震災や関東・東北豪雨、新型コロナウイルスなど様々な困難がありました。しかし、多くの皆様のご支援とご協力により、本市は着実に発展してまいりました。地域の絆を深め、新たな価値創造に挑戦し続けることで、安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進しています。

今後も、市民一人ひとりが誇りを持てるまちづくりを目指し、持続可能な発展と地域活性化に努めてまいります。皆様とともに歩む未来へ向けて、更なる飛躍を目指してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。これからも常総市は「みんなでつくる しあわせなまち じょうそう」を掲げ、未来志向の施策を展開してまいります。



常総市長
神 達 岳 志

市議会議長あいさつ



常総市議会議長
中 村 博 美

常総市が誕生してから、20 年という大きな節目を迎えるにあたり、市民の皆様をはじめ、これまで本市の発展にご尽力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

平成 18 年 1 月 1 日に水海道市と石下町が合併し、新たな一步を踏み出した常総市は、幾多の困難を乗り越えながら着実に歩みを進めてまいりました。特に、平成 27 年 9 月に発生した関東・東北豪雨では甚大な被害を受けましたが、市民の皆様の強い意志と全国からの支援の輪により、復興への道を力強く歩んでまいりました。

市議会といたしましても、これまで一貫して市民の声に耳を傾け、住みよいまちづくりの実現に力を尽くしてまいりました。これからもその責務を胸に、さらなる発展を目指して取り組んでまいります。

本市の歩みを振り返り、併せてこれからの時代を担う皆様へのメッセージとなれば幸いに存じます。

常総市の20年の歩み

＼ 2006年（平成18年）1月1日常総市誕生 ／



常総市役所開庁式



常総市役所石下支所開庁式

2006 [平成18年]

- ・水海道市と石下町が合併
常総市誕生
(初代市長：遠藤利氏)
- ・市役所、石下支所開庁式
- ・常総市誕生記念式典を挙行



2007 [平成19年]

- ・常総市長選挙
(第2代市長：杉田光良氏が当選)
- ・常総市議会議員選挙
(定数26名)



2008 [平成20年]

- ・石下総合運動公園石下球場
竣工（人工芝野球場）



- ・杉田光良第2代市長が逝去
- ・常総市長選挙
(第3代市長：長谷川典子氏が無投票当選)
- ・鈴木桂治選手、小野卓志選手、柔道で北京オリンピック出場

2009 [平成21年]

- ・予約型乗合交通「ふれあい号」運行開始



2014 [平成26年]

- ・常総市役所本庁舎が開庁



2015 [平成27年]

- ・市内全域対象に防災行政無線を供給開始
- ・吉野公園をリニューアルオープン
- ・常総市議会議員選挙
(22名無投票)
- ・市役所議会棟が開庁
- ・「アグリサイエンスバレー構想」3者協定に調印
- ・関東・東北豪雨により、鬼怒川や八間堀川が氾濫し市域の3分の1が浸水
- ・天皇陛下が被災地をご訪問



2016 [平成28年]

- ・若宮戸堤防の盛り土が終了
- ・三坂町堤防が完成
- ・常総市長選挙
(第5代市長：神達岳志氏が当選)
- ・常総市〈絆〉駅伝大会を開催

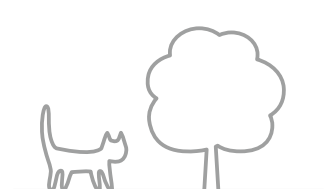
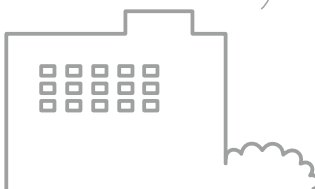


2017 [平成29年]

- ・圏央道常総インターが開通
- ・水海道二高ハンドボール部が全国制覇3冠（全国ハンドボール大会、インターハイ、岩手国体）を達成し、初の市民栄誉賞を受賞

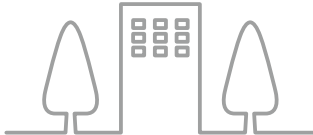


- ・水害記念碑が完成



2010 [平成 22 年]

- ・石下新庁舎オープン



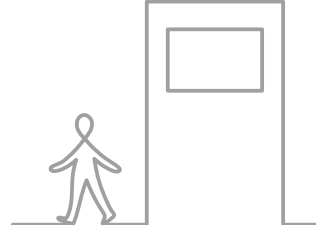
2011 [平成 23 年]

- ・東日本大震災により、市内で甚大な被害
- ・常総市議会議員選挙（定数 22 名に削減）
- ・都市計画道路石下駅中沼線「石下橋」が開通



2012 [平成 24 年]

- ・常総市長選挙（第 4 代市長：高杉徹氏が当選）



2013 [平成 25 年]

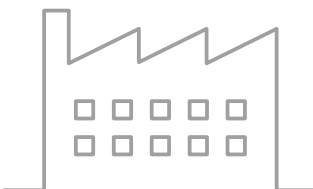
- ・市役所下水道庁舎解体工事を開始
- ・市内でのロケ 1000 作品達成



- ・石下西中学校校舎が完成
- ・市役所本庁舎建設工事を開始

2018 [平成 30 年]

- ・アグリサイエンスバレー常総起工式



2019 [平成 31 年・令和元年]

- ・鹿小路細野線（坂手から内守谷）が開通
- ・常総市議会議員選挙（定数 22 名）
- ・いきいき茨城ゆめ国体開催（常総市はハンドボール会場）



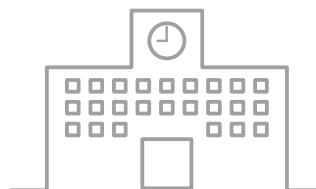
- ・鬼怒川サイクルフェスタを開催
- ・常総市女性消防隊が全国大会に出場

2020 [令和 2 年]

- ・水海道中学校に県内初の夜間学級を開設



- ・常総市長選挙（神達岳志氏が当選：2 期目）
- ・コロナウィルス流行始まる



2021 [令和 3 年]

- ・移動スーパーの運行を開始
- ・高崎坂東線（篠山から古間木）が開通
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレー実施



- ・「大河ドラマ『千姫』誘致の会」を設立



2022 [令和 4 年]

- ・㈱本田技術研究所と「AI まちづくりに向けた技術実証実験に関する協定」を締結



- ・災害時に役立つ行動とスポーツを融合した「防災スポーツ」を県内初の実施

2023 [令和 5 年]

- ・大花羽小学校閉校
- ・道の駅常総オープン。同年に来場者 100 万人達成



- ・常総市議会議員選挙（定数 20 名に削減）
- ・坂野家住宅書院と文庫蔵が国指定文化財に指定
- ・アグリサイエンスバレー常総がプラチナ大賞・総務大臣賞を受賞

2024 [令和 6 年]

- ・コミュニティバス「JOY BUS」運行開始



- ・常総市長選挙（神達岳志氏が当選：3 期目）

2025 [令和 7 年]

- ・鬼怒中学校閉校
- ・第二保育所閉所
- ・大相撲常総場所を開催



- ・合併 20 周年記念式典を開催



復興の歩み（10年の節目）

忘れない、あの日

2015年9月10日に関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊、市域の約3分の1にあたる40km²が浸水し、鬼怒川東地区では、多くの家屋が浸水などの被害を受け、人的被害も発生した大災害に見舞われました。

大勢の市民が避難生活を強いられるなか、国や全国

の自治体・自衛隊員・各県からの消防・全国からのボランティアから物心両面の支援をいただきました。支援の力が、現在までの地域の再生と発展に大きな役割を果たしています。



↑ 浸水時の市役所本庁舎



↑ 現在の市役所本庁舎

あの日からいまへ

本市は「常総市復興計画」を策定し、被災者の生活再建と災害に強いまちづくりを目指し、復興の体制を整えてきました。

関東・東北豪雨で大きな被害を受けた鬼怒川堤防では、水害対策の強靱化や地域活性化を目指し、堤防の強化とともに「鬼怒川サイクリングロード」が整備されました。復興象徴の一つであり、地域資源のネットワーク化に大きな役割を果たしています。



↑ 決壊後に復旧し、新たに整備された三坂町堤防（2016年）

9月10日は「常総市防災の日」です

本市では、市議会からの提案を受け、2015年9月関東・東北豪雨の経験及び教訓を風化することなく、後世の市民に継承するため、「常総市防災の日」を定める条例を制定し、2016年8月9日に施行しました。

この条例は、災害に対する市民の防災意識の向上を図るとともに、災害に対する備えの充実と強化を図ることを目的としています。

常総市の中心を南北に流れる鬼怒川堤防にあるサイクリングロードは、水海道と石下を繋いでおり、サイクリングでの市内移動が容易になりました。

さらなる防災先進都市へ



「災害に強い常総市」を目指し

本市では、関東・東北豪雨から学んだ教訓を活かし、水害や地震などの災害から市民が安心安全に暮らせるよう様々な取り組みを展開し、災害に強いまちづくりを推進しています。水害時に円滑に行動ができるよう、避難行動をあらかじめ時系列で整理しておくマイ・タイムラインの普及啓発をはじめ、災害時に地域の防災力向上を図る自主防災組織の設立支援なども行っています。



マイ・タイムライン作成支援

教訓を次の世代へ

水害から学んだ様々な教訓を風化させないよう、子どもたちに向けて、早い段階から防災に対する意識を高め、自然災害から自らの安全を守る力を育んでもらうため、防災教育として防災学習や防災スポーツなど

をおこなっています。

また「楽しみながら防災に備える」をテーマに、防災教育とアウトドアを融合させた「防災キャンプ」など新しいかたちでの防災教育にも取り組んでいます。



防災キャンプ



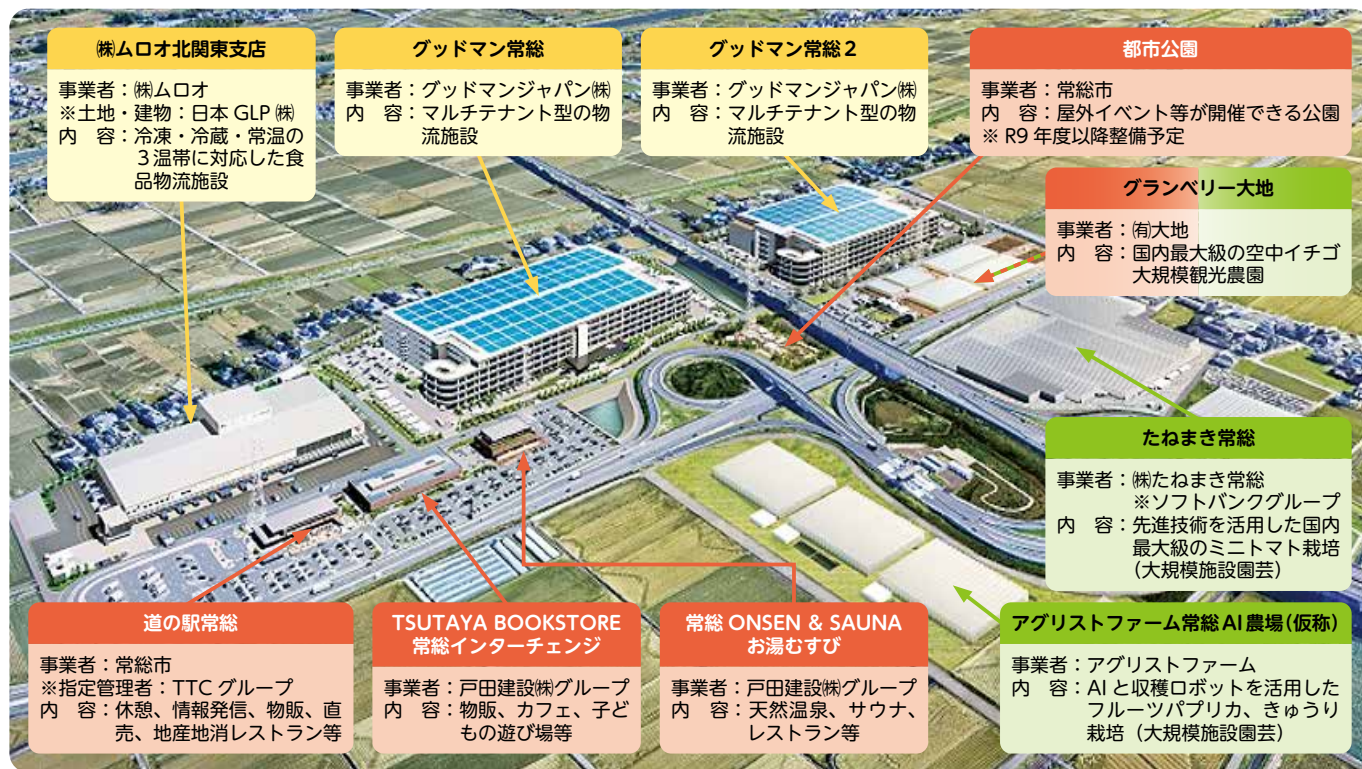
アグリサイエンスバレー常総



常総市の新たな玄関口として、圏央道常総インターチェンジ周辺の約 45ha に、生産・加工・流通・販売が一体となった地域農業の核となる産業団地です。

本市の基幹産業である農業を活かしたまちづくりを推進しています。

■ : 都市エリア ■ : 都市エリア (集客ゾーン) ■ : 農地エリア



道の駅常総：食農楽のむすびまち 輝くえがおをつむぐ駅

関東平野の広々とした水田の風景の中、国道 294 号線と圏央道常総インターチェンジとが交わる場所に、常総市が掲げる「農業を活かしたまちづくり」の拠点施設として、2023 年 4 月 28 日に「道の駅常総」がオープンしました。その来場者数はオープンから約半年で 100 万人を突破し、全国でも人気の道の駅です。
人気の秘密は、食・農・楽！

<食>

地元の新鮮な農産物や、茨城の特産品を活かした絶品グルメ、道の駅オリジナル開発の加工品などを提供しています。



<農>

農産物直売所で、地元の生産者や茨城県全域から届く新鮮な農作物が販売されています。



<楽>

屋外には田園風景を見渡せる展望デッキを始め、交流広場や芝生公園・遊具など、子どもたちの遊び場も充実しています。



子育て・AI まちづくり



このキャラクターは、市内の小学生が職業体験を通じて制作したヒーローです。



取り組みはこちらから

子どもまんなかまちづくり常総!!

本市独自となる「子育て世帯の経済的負担の軽減」や、公園整備などによる「子どもの居場所づくり」、オリジナルプログラミング教育の実施、奨学金制度の大幅な拡充などによる「教育環境の充実」、大規模な市街地整備などによる「子育て環境の充実」など、幅広い分野で包括的な取り組みを展開しています。

地域の宝である子どもたちが健やかに成長できる環境を整え、将来の常総市を担う子どもや若者たちが「常総市で子育てをしたい」「このまちに住み続けたい」と思えるような、子どもを中心に据えたまちづくりを「子どもまんなかまちづくり常総」として推進しています。



未来にはばたけ!



常総の子どもたち



常総市から始める AI まちづくり

本市では、少子高齢化や若者の流出など様々な社会課題の解決に向け、2022年6月30日に、株式会社本田技術研究所と「AI まちづくりへ向けた技術実証実験に関する協定」を締結し、AIなどの先端技術を用いた新たなまちづくりの実現を目指しています。

先端技術を活用した新たな産業と雇用機会を創出することで、若年層を中心とした生産年齢人口の還流を促進するとともに、将来、AI企業などの雇用需要に応えられるよう、市内の子どもたちに対しキャリア教育やAI教育を展開し、将来の人材育成に取り組んでいます。



みんなの夢を現実に

常総市歴史・名所マップ

ぐぎょうじ ①弘経寺

徳川家康の孫娘である千姫ゆかりの地

千姫は、1597（慶長2）年に徳川第2代將軍秀忠（徳川家康の三男）の長女として生まれ、市内にある弘経寺（豊岡町）は千姫の菩提寺であり、お墓がある寺として知られています。千姫ゆかりの地である本市では、毎年「常総千姫まつり」を開催し、華やかな時代衣装を身にまとった千姫さま御一行が会場を練り歩き、盛り上がりを見せています。



たかし ②長塚節の生家

茨城県を代表する歌人・正岡子規短歌の継承者

長塚節は、明治・大正期に活躍した詩人・小説家で、自然や人間の素朴な感情を巧みに表現した作家です。代表作の「土」は、当時の農民の生活を克明に描いた不朽の名作として、今日も高く評価されています。本市では、長塚節の精神を継承し、優れた作品を長塚節文学賞として表彰しています。また、常総市国生の生家は、茨城県指定文化財に指定されています。



③国指定重要文化財 坂野家住宅

「水海道風土博物館」として公開される“歴史空間”

坂野家住宅は、江戸時代の典型的な農家建築を今に伝える重要な文化財です。主屋と表門、書院、文庫蔵が国指定重要文化財に指定されており、3か年にわたる保存整備事業により「水海道風土博物館」として一般公開されています。



④菅生沼

白鳥の沼、県最大の自然環境保全地域

南北約5.5km、東西約0.4km、面積230haを誇り、その自然の豊かさから、1975年に県内初の自然環境保全地域に指定されました。冬期には毎年300羽を超えるコハクチョウが飛来します。また、国内でも希少な植物のひとつで絶滅危惧植物であるタチスミレが自生しています。



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館



⑤地域交流センター（豊田城）

豊かな田園風景を一望できるランドマーク

高さ約 40 m、7 階建ての建物には約 1,100 人収容のホールや子育て世代の方々を中心にお使いいただけるフリースペース、長塚節の世界を表現したデジタルミュージアムなどがあります。展望室からは筑波山をはじめ、富士山、日光連山を見渡すことができます。



●アグリサイエンスバレー常総



常総市マスコットキャラクター 千姫ちゃま

⑥八間堀川桜堤

自然美と憩いの場を彩る桜並木

春になると満開の桜が川沿いを彩り、多くの市民や観光客を魅了します。地域の自然美と調和したこの場所は、散策や花見に最適で、心癒される憩いの場となっています。



⑦吉野公園

釣り愛好家に人気のスポット

水面積約 5 万㎡、周囲約 4 km という小貝川の旧河道を利用して造られた全国でも珍しい市営のへらぶな釣り場です。桜の名所としても知られています。



⑧水海道あすなろの里

里山の自然が広がる野外研修施設

豊かな自然環境が広がり、四季折々の風景や様々な生物の観察が楽しめます。また、季節に応じた農作物の収穫体験やキャンプ、ふれあい動物園など、子どもから大人まで楽しめる施設です。



ま ち の 歳 時 記



常総千姫まつり



水海道祇園祭



石下祇園まつり



あすなろの秋まつり

春

常総千姫まつり

2001 年から始まった本市を代表するまつりの 1 つ。千姫ゆかりの地で、多くの市民や観光客が千姫行列の時代絵巻などを楽しめます。

夏

水海道祇園祭

水海道駅近くの目抜き通りで開かれ、市内 11 町会と同好会のみこしが集結します。みこしと山車が一カ所に集まる「突き合わせ」が見どころです。

石下祇園まつり

石下中心市街地の目抜き通りで開かれます。2町会のみこし、山車、子どもみこしが繰り出し、市無形文化財指定の「石下天神ばやし保存会」や「とんだやばやし保存会」子供連がおはやしを披露します。

常総将門まつり

平将門生誕の地である石下地区の盆踊りで、特設やぐらの周りで、音楽に合わせて将門踊りを始め、様々な踊りを楽しむことができます。

秋

常総きぬ川花火大会

1949 年（昭和 24）関東花火競技大会として始まり、日本を代表する有名花火師の作品が夜空を彩ります。多くのメディアに取り上げられる全国的にも有名な花火大会です。

あすなろの秋まつり

水海道あすなろの里で開催され、ふるさとの自然を通し、食べて・遊んで・学べるイベントを楽しむことができます。

JOSO ワールドフェスタ

多文化共生の取り組みの一環として開催。世界各国のグルメやダンスなどのステージを楽しみながら、様々な異文化を体験できます。

ふくしまつり

「福祉に対する理解を深め市民交流の輪を広げること」を目的として市社会福祉協議会が毎年主催しています。来場者に「ふくし」を知ってもらえるイベントを多数行っています。

常総ふるさとまつり

ステージなどで多彩なイベントが繰り広げられています。市内の小中高生や市民団体なども参加し、バザーや模擬店も豊富です。

はたちのつどい

年度内にはたちを迎える方を対象に式典が行われ、晴れ着やスーツ姿で晴れやかな門出を迎えます。

消防出初式

消防関係者が一同に会して、地域消防の誓いを新たにします。多数の消防ポンプ自動車からの一斉放水は圧巻です。



常総ふるさとまつり



はたちのつどい



消防出初式



常総将門まつり



なんか、いいかも。
JOSO CITY



常総市とともに私たちを迎えて

常総市の合併から20年を迎える節目に、
今年度20歳を迎える方たちに、常総市への想いを聞きました。

私は散歩が好きで、友人と鬼怒川沿いの堤防をよく歩きます。そこには豊かな自然が広がり、四季折々の風景を身近に感じることができます。また、常総市には広大な水田や農地が広がっており、おいしいお米や新鮮な野菜がたくさん採れることも魅力です。

今後は、常総市の豊かな自然や歴史を生かし、市民の皆さんが集える交流拠点が整備され、住みやすく、活気にあふれた魅力ある常総市になることを期待しています。



小林 恵大 さん



染谷 心 さん

常総市の真ん中を通る鬼怒川や小貝川に囲まれた田園風景や、歴史的な街並み、関東鉄道常総線のローカル線ならではの駅の風景やのどかさ・味わいなど、地元の違う友達に自慢したい風景がたくさんあります。



常総市は、みんな顔なじみのような雰囲気で初めて会う方でも親しみを感じることが多いです。中学では、他の市でサッカークラブの活動を行い、高校・大学では、他の都道府県で活動した事を通して、この常総市のコミュニティのあたたかさを実感しました。

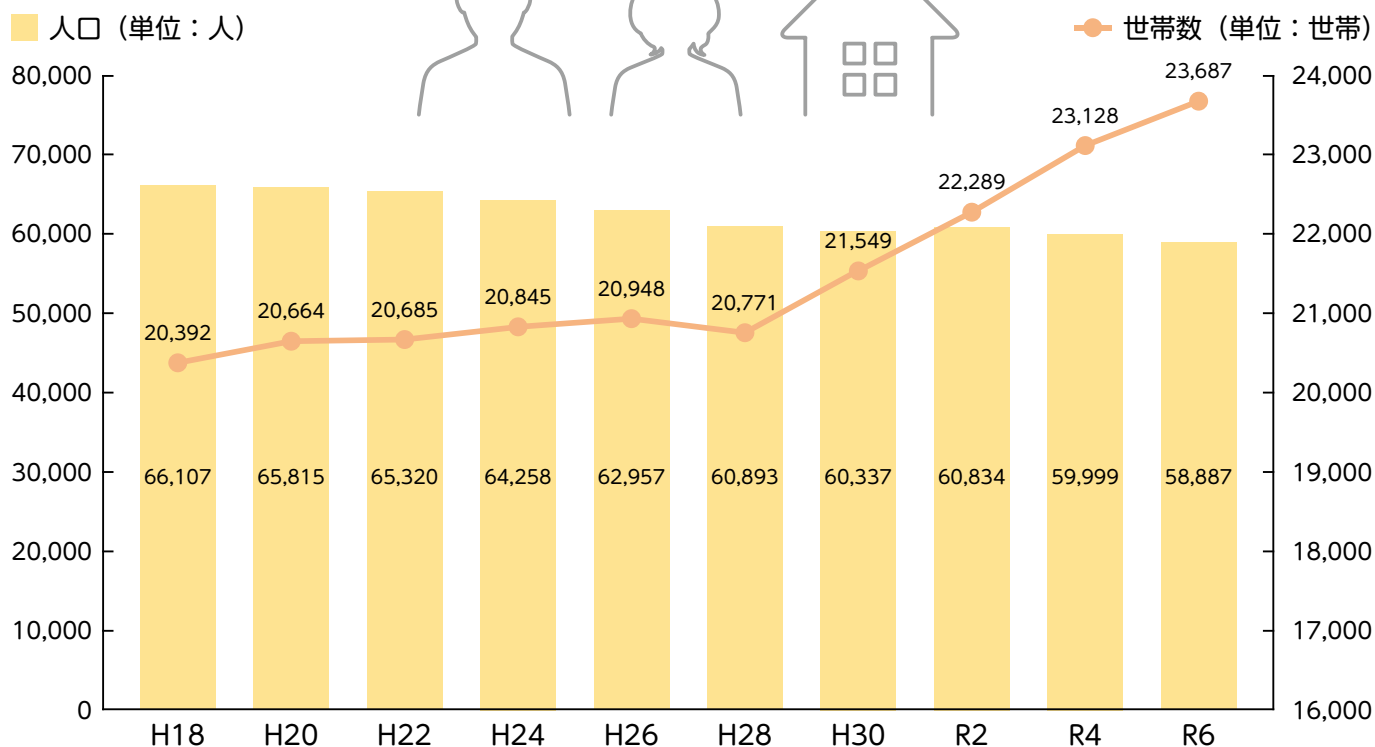
誇りに思う事は、特に、小学生の頃、子供会の活動で様々なイベントを行っていただいた事や、登下校時の見守りパトロール等で、地域全体として、子どもを見守って下さったところです。



宮本 健吾 さん

資料編

人口と世帯の推移

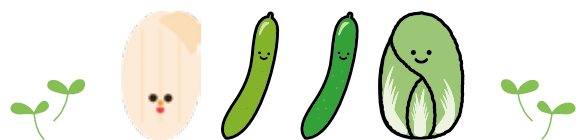


農業・産業

耕地面積

	面積	県内順位
耕地面積	5,730ha	第8位

※農林水産省作物統計調査（令和6年度）による。



農作物収穫量上位項目

	作付面積	収穫量	県内順位
水 稲	2,890ha	16,000t	第5位
夏秋きゅうり	15ha	552t	第1位
冬春きゅうり	11ha	826t	第2位
秋冬はくさい	179ha	14,200t	第4位

※農林水産省作物統計調査による。
ただし、水稻は令和6年度調査、
夏秋・冬春きゅうり、秋冬はくさいは令和5年度調査による。

常総ふるさと大使

本市出身などで、様々な分野で活躍されている方を「常総ふるさと大使」として委嘱しています。

- 羽田 美智子（女優）
- 細川 和彦（プロゴルファー）
- 岡田 忠之（オートバイ・ロードレースライダー）
- 青木 智也（フリーランサー）
- 赤プル（お笑いタレント）
- 鈴木 桂治（柔道家）
- 小野 卓志（柔道家）

- 北条 きよ美（歌手）
- 池田 嶺煌（吟詠家）
- 石塚 美咲（ミュージシャン・MC）
- 曼珠沙華（国際文化交流舞踊団）
- はせがわ 芳見（コミュニケーションアート作家）
- 清水 国明（タレント）

（敬称略）



発行 常総市

〒303-8501

茨城県常総市水海道諏訪町 3222 番地 3

電話 0297-23-2111 (代表)

<https://www.city.joso.lg.jp/>

令和7年 11 月発行

©Joso City 2025 本書収録内容の無断転載を禁じます。

